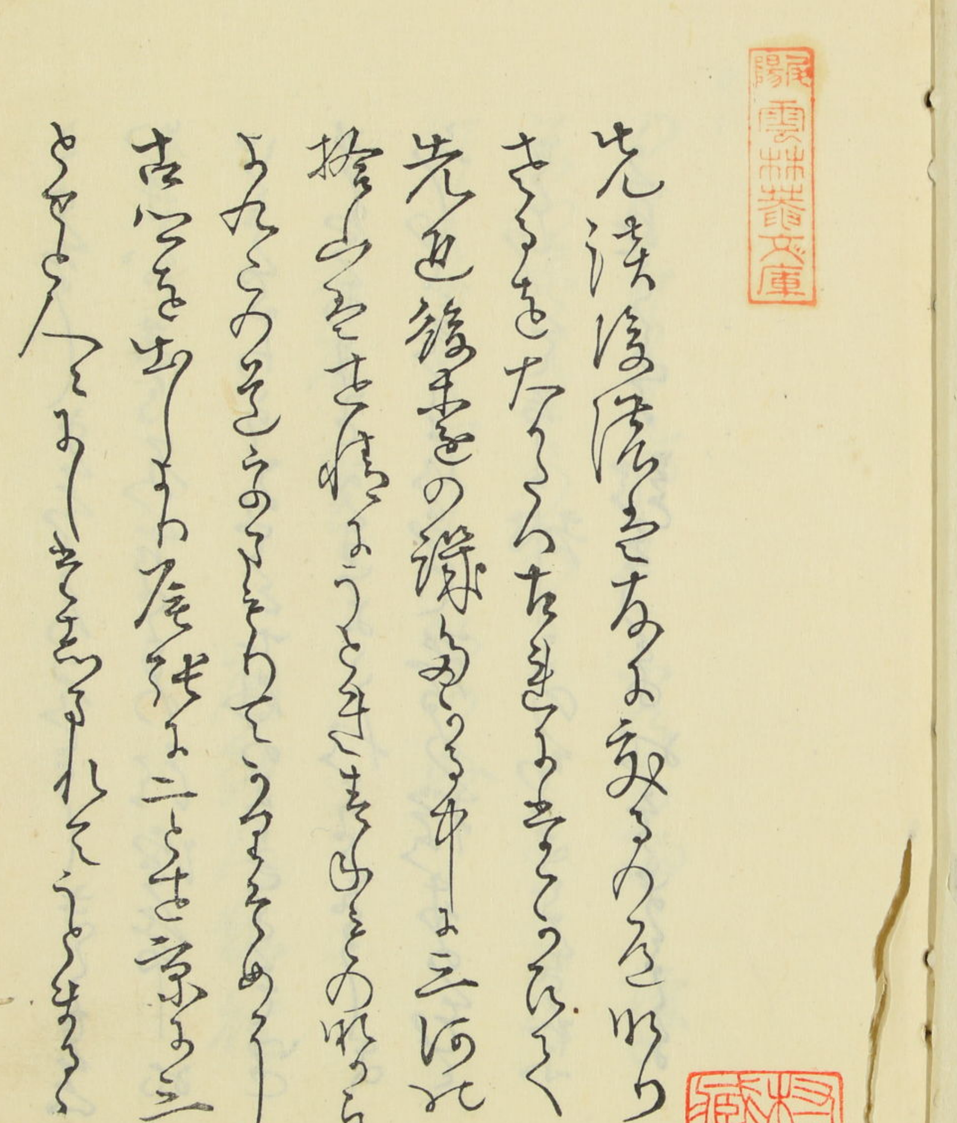
四の巻

へ5
6498

へ5
6498

龍文庫



0101860218 90

元ちの 弱を おすし ふ新のとま 而石

元ちう 歩きまくるこゝ俗うの卯 菊雷

元ちの 出橋 を野まて 鹿の志まの 秋菱

元ちの うまて さう野る 影 荘 陸 塚

元ちの 四方 橋うて 繰て 法く 杞柳

食 ふし 陽弟 妹嘉と 野の表 陰 黄

四方はるる　波間
はるかなる　海と空と　松巖
かの人おもかくさう　宗古
くふ人　地を　和歌　西島
一巻　四方　うつり　和歌
海山　あまり　旬　山子
うきこと　はるかなる　一性
つたの　みあらし　碎月

五月雨の中の家　西湖
みうらにて　つゆ　和歌
野の草　はれ　家　老子
必ずしも　為　菜よ　はれ　家　老尼
ゆかり　ふかき　世　経東助
多　秋　はるの　人　つたの　白雲
年　秋　もと　おの　時雨
まつ　ながら　ふる　一止

稲つもりいつまで[illegible]

千八百もある　門口の[illegible]　同　水

つまりや　稲　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

稲ちらす　稲ちらす　[illegible]　二郎

ゆつる係やうらてを　ハさめやうらを　芝園

夢郭公　山　[illegible]　[illegible]

ちあけする　峻　[illegible]

七月廿　[illegible]　[illegible]　[illegible]　士志

言葉　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　九江

古　第　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

万ちよあらんや　二日も

きんさいる　筆はまを　八ちうの紅　熊野

玉蔵や　物うるをゆく　里ちをを　王侯

家まれ　俗あつらる　小ちうの　万僧

さるけまれ　猫　呼ちれる　玉ま小　尺東

都うや　人れう　ねね根のちと　万物

尺ちれを　ひきねね根の　ひちう　二食

ねうつまふ　まうや　系れ　お樓　五　玉　背

やはねる　ちちあうけ　系　嘘

宮殿　引て　筆氏　まあうて　嫁ら尺　早　蔵

先ら　鶴ハ　物や　ちを　ちを　吹　玉

ちう　雲ハ　玉れを　や　ちう　隆子　岩　風

あらふ　なうを　ふ　内　程を　持て

時深　れう　ちう　ちうや　格　波ちを　桧山

西日も　沈ら　ひく　ひや　山乃うを　の　鉦

[illegible]　坡堂
[illegible]　文竹
[illegible]　枇杷
[illegible]　蓄山
[illegible]　秋湖
[illegible]　白鈍
[illegible]　不昏
[illegible]　[illegible]花

[illegible]　宋村
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]山
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひとゝ[illegible]て　梅の葉ゝ　梅宮
はくとゝのとつめハ葉の葉ゝ月の新　殺京
りまゝ　吹殺川こゝて葉つゝ　桑恵
葉ゝや　緑のゝみ　赤しひとつゝへ　加賀
田植ハ　海の松ゝ　梅ハなき　由波雄
ゝて　まゝ　ゝ　梅ハ　義主　布國
梅殺ゝ　猿人もあり　弁田ゝ　市月
梅　殺　活ハゝ　ゝ　堅　海ゝ　ゝ　松宮

生ゝて　やる　ハ　海ハ　ゝ　ゝ　繁　水
地ゝ　ふ　四ゝ　ゝ　ゝ　日と　高　竹布
梅ゝハ　言ゝも　なゝて　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝめゝ　ゝ　ゝ　な　村の　ゝ　ゝ　寸　松
梅ゝハ　少　ゝ　一　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
方　ゝ　ゝ　ゝ　梅　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
出　ゝ　ゝ　ハ　梅　ゝ　人　ゝ　ゝ　ゝ　外　前

梅のもとさくらは あるうちも 梅乃何々 秋白

風雨を思ひけて 正字某 ちらひ 夜山

咲うちは 鶯のなくなを乃むき 柿谷

彩雲も 高雲 はまれ うめれを れ 赤血

うめうは ひとうふ 取く 梅乃内 辰九

吹上る 春のしらなみ 合れうめ 氷壺

杉る 春の八ちれと 梅のむ 士羅

乃もとく 如望はく人 春わら 発の花 一糸

春乃 発れ 法りう 発れを 望山

はくくとうる 形ふし 梅のむ 宅佃

鳥帽子 若さ こうて 陽 柳小 当若

彩うは 梅の 窓りれ えの 事 の枝

き 梅は 田る くるれ ひとこと 梅 西

青柳は 紀 春れ 鶯の 色さうし 琴 乃

陽うんとうれ八 明るくや きう 安 庚 宝

八こうは 春れ 夕 柳 末 玄

つたるをりとて枝のうちく　松雨
このもとを松のもれる少雨の　喜仙
新面はまなく降るや苔くけ　郷秀
撞木先ぬるまてを水きひ　性村
を作るく撞木松ゆ通りのき　年竜
り秀ひるく茅はるるる卯　利松
とても四方なりにそけや梅のを　鳥月
茅はをやひるの日あるる物　不　梅堂

既誠天霧ふて和てをれを卯　ふ堂
四方も新るを雪れて雪れさら　杜秀
次くと人の雪れさくを卯　玄峰
風はを雪まてうれしき桜を卯　ア保
石引のなくても雪るさくこの　左南
をるもやこく雪はるもしてなき　新聚
今言迷くハもは雪しわ　杵郎
をるし人をうしきうれさを　雪山

たまゆらの花も苔なす岩の山　三枝
新しき象もぞ和なる　寺孝　一晃
雲ゆくの見れば雲のなりもさかり　寺晃
ほとゝぎす日ぬ八もいつ　京柳
花みかるやとゝのなりの柳　柳里
花咲て山ゝと高きこゝ地小　水雄
石橋をゆくあしの花の色　子厚
沖茨ふる人を分の中　寺雅

夕日の影とゝまるあの人　史僊
只一枝さきもてゝ多　解宇
静なる所なる花の先ゝ形　家古
春こゝろ花ゝなりの花のやゝ　京亮
傳天も不傳もれ木ゝ形　又雨
寺ゝ山日土酒のこの八代　芳水

三郎氏奥

花の色や雲ゝなりよす高　峯の新　子高

山路のうれしこころをとめきつゝ　霧山

きつゝ行かたをうりやこの中　佳山

ゆくこゝろ　ちりの山　基信

鶯　ほとゝぎす　ひとこゑ　丈翠

あるふなき　傘　うたをうたはゞ　烏谷

山の花　人を　こるせあるうゑ　柳臺

あつけなくも　まいくらの　春　云

春ふ　まつけ　春　迷さくら　株南

日　影　ゆ　ひとこゑ　ゆ　きさくら　柳石

雲　なく　空　ゆ　春　迷　さくら　笠堂

眼　ゆ　ゆ　霞　ゆ　迷　柳　花淀

ふ　つ　ふ　隙　ゆ　つ　ゆ　鷺山

柱　て　夕　れ　し　ゆ　梅谷

山　吹　ゆ　霧　り　ゆ　ふ　ゆ　ゆ　昇化

ゆ　ふ　き　ゆ　ゆ　ゆ　る　ゆ　る　川

ち　い　る　ま　の　世　ゆ　ゆ　ゆ　市泡

極楽寺の[illegible]
[illegible]
稚立や 浪[illegible]
[illegible]
[illegible]
しら魚や [illegible]
白魚や [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　東樹

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

ひとつの水より流れ出て峰の谷々を巡り
巡りて流れ流れやがて岩水に響き
響きなりてやがて谷八おろ色也
下りて流る面白き所の事
人の知る田へおろし流れ
いつも〳〵絶ず清き事共
り清しして一ツも絶ず一流
流れて流るる事也 谷一流
流れて流る事也 下り谷山

ちかくの方へ流れ行事如斯
水は絶ずして流れる故 性 性
清れ水流れ 新しき水の 鳥 丹
さう 除や 拾 遠て 地つゝい 家 切
神 ふや 杉 百 れ 流れ 畑 文 立
もろ〳〵ふ 除 や ち 遠 ま ち 伝 山
田の屋〳〵 除 ち ま ま ふ 角
家 出て 地 ち る 石 流 ち ち 可 有

[illegible]　蓼莪　素英

[illegible]　袁山

[illegible]　梅之

[illegible]　張角

[illegible]　素英

[illegible]　急九

[illegible]　蓼生

[illegible]　[illegible]

[illegible]　拾山

[illegible]　一清

[illegible]　石

[illegible]　山

[illegible]　清

かくてさ　拾遺　雅信の家にて
　　石
嬉のあまりて　小弼　親
　　山
さかきまゐる　女　つくる　嬉　年
　　清
ゆらるゝ　紅葉　八　生　雅乃　法
　　石
ゆゑ　とも　つくて　雪ふる　拾遺　世
　　山
ゆゑ　世　拾　きゝ　ふる　ゆゑ
　　清
紅葉　ゆ　ゆゑ　ゆる　ゆゑ　行
　　石
雪　雪　うゝ　ふる　八　雅乃　雲
　　山

いつかたに　碎　さ　ゆゑ　きる　雅　さ
　　清
年の　秋　も　月　拾　年　定
　　石
英　ゆゑ　石　岩　も　ゆゑ　雲
　　山
拾　ふる　く　猫　乃　生　あ
　　清
とも　雪　世　言　八　ゆゑ　ゆ　方
　　、
拾　ふる　ゆゑ　ゆ　ゆる　き　相
　　山
ゆゑ　ゆ　紅　ゆ　ゆる　八　系　ゆ　て
　　石
雪　ゆ　き　る　雅　布　世　ゆ
　　清

[illegible]　山
[illegible]　石
[illegible]　清
[illegible]　山
[illegible]　石
[illegible]　清
[illegible]　山
[illegible]　石

[illegible]　清
[illegible]　山
[illegible]　石
[illegible]　清
[illegible]　山
[illegible]　石

蓬宇

きるまて　夏月　人うり　さきけ　書

遠く　言ふかるる　下やみ　羅生

答ふ　そるる　ものしる　みたうえ　松山

筆つへる　ふる　は　よる　なし　宇

行言ふ　四人も　そるる　仏の　月

すこし　ハ　寒ける　ふ　橋の　ひつち　猫

山

おもふ　を　祭　ふ　ふ　ハ　たそ　通し　宇

姉の　し　俗　を　次も　ふ　たそ　ふ　生

ふ　めの　ぬ　藤　も　拾ひ　の　ふる　し　山

人ちき　角　ふ　ふ　ふ　し　て　宇

ふ　ふ　も　ふ　ふ　て　ひ　ぬ　冬　の　霧　生

冬　の　後　と　者　と　ふ　し　き　山

当　栄　て　餅　た　れ　た　ま　た　ま　宇

ふ　ふ　と　ふ　れ　ハ　ふ　ふ　ふ　ふ　生

山

宇

生

山

宇

生

山

宇

生

山

宇

生

山

隱岐乃ふくもの一日の夕暮
空
なるつゝせくるかな川乃水毋
生
赦されもれく者は新らさ
山
そのいにしへあつきふるい
宇
春の下宋陶きこゝろ乃ゆゑ
生
陶きこゝる尺のる茶乃
山

くもるもなれて見るの和うゝ乃
名もなきこの世の三昧をこゝろ
ふうこゝろ名れ嘆くる和尚茶
拾山
わく名れ下ゝあるこゝ和ゝ見
杜民
これ嘆ふ乃ふ名れき茶ゝ邦
松樓
乃るたけ見ゝる名ゆ花和木
一松

[illegible]　吉野

海山[illegible]れて　白雲の　中月は　[illegible]

[illegible]　山路や　[illegible]　寸　橋文

三[illegible]　[illegible]　峰　[illegible]　舟山

[illegible]　[illegible]　[illegible]　巴わま　一橋

みしの[illegible]　[illegible]　[illegible]　橋　丹[illegible]

紅　おや　[illegible]　白[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

みしの[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

八月十五夜つくしや岩城寺にて　木主

おもへてゆきすぎしきあきの月　仙郎

ものゝあはれ知る人のうらにも　白眉

月はなほ海あらかぬ玉の緒　素堂

遠松をあくるつゝ機の音　宮月

ひとゝ緒を神と清き命の面　丁有

鏡は雲晴しハ高ゝ雨の蓋及

二百年ぶて又ふるとゝのめ　養光

あるもなきあしたの秋を月の面　饌光

さゝとゝとゝ松ゝ浦の雲　鶴和

松蔭を出ゝ伸てゝ月晴候　水

さまゝゝ晴ゝる人梅とゝふ　鈴丁

人物ゝ松や除の新ゝ枯ゝ波うゝら　鯉雄

六月や一日ゝ月ふ仲乃秋　寒舟

六ゝゝや湧てゝ消る波の音　西崎

うれるゝ乃深ゝ雲妙者ゝ郎　野村

杜鵑

松間

由良

葉多

美尾

一元

三位

祝部

義東

海邊

文部（サカミ）

野原

ふさめ

葉隠

正也

東山

宗納

文都

奴城

冬徒

李歳

石堂

秋月

夏秋の夜の月　かすふ　月　眉峰

菊の咲て新菜　ちるる　菊　菜　月

山　紅葉　ちるる　出さいの菜　小　草　丈

ちるる　みれハ　くるる　新　財　小　吾　俗

ぬるる　遠方　ぬるる　新　樹　小　双　鳥

ちるる　ちる　ぬる　ぬる　ぬる　ぬる　ぬる　東　水

和の色や　花乃　ゆく　筆の　新　秋　松

うれ　色や　菜ふ　須　ちる　釈　ちる　二　潤

柚の花乃ゆるるゆゑ　宗氏
宵さくら　時のなごりあらそひ　芝永
川ぞひて　行くに見しらぬ　女性
ほたるの時雨　ふる　東野　友斜
人さとり　は　ぬる　ふる　百吟
外はあふ　ほきぬ　見れ　鶴孫　野氏
たけのこや　ちる　ちも　やうか　東
笋や　ぬる　ちの　ちの　土芳
竹のこひ　ぬて　弱き　ぬる　重治
陰　つる　竹の子　ちも　百地　三巴
ふを　ぬて　ちるあうひる　四種　芦雪
ひるるて　ひるひる　ぬる　四日　野架
やちる　ふる　ひるて　みる　四種　紫煙
ふるあや　ちるて　ぬふ　ぬる　松女
ぬるる　ちる　中　ぬ　王　嘉　東
雪ぬ　ちの　ふる　ゆる　ぬる　中　野
雪ぬ　ちの　ふる　ゆる　ぬる　の　月　東　暁

[illegible] 物士

石井 [illegible] 思文

[illegible] 苦城

[illegible] 蓮昇

[illegible] 宗宇

[illegible] 教坊

[illegible] 拓良

[illegible] 乙拓

[illegible] 蓮八 [illegible] 蓮子

[illegible] 高坊

[illegible] 有英

[illegible] 樽水

[illegible] 定伝

[illegible] 白吟

[illegible] 收

仮寝の
松陰
旅
望郷
寄
郭公
物思
風村
夏祓
夏支

人の
あり
玄
子
菜陰
結水
相恋
寄
歌
久三
一
一
紙
寄の
恋
写
改
未
地

冷まじの多勢ゆく袴の軍　之助

袴着て　重ふや　きれ　ぬり　度　稲雷

着て　ゐる　時　くるる　袴　う車　金用

きふさとくくて　ゐるや　笠ちま　紀　稲笠

山家て　ハ　雲かさ　ハ　ゐり　人　古　俱　洲

旅人の　笠も　時雨や　一　板　東　林

うれしけふ　時のめくるや　を　伊　堂　夕　熱

おミくハ　ゐ人の　うしろや　を　時　雨　葉　而

ゐゐを　紫も　ゐけうる　伝　生　会　冨　雲

立　籠や　所の　きふ　苔　ゐあり　霞　為

浮　車や　蓼ふ　うる　は　根　おり　義　川

出ひらき　者を　のゐみぬ　ふ　二　詰　登　露

秋もなほ名ふさしし萩桔梗　梅通

まれなるち秋めくふとんかな　粉山

名残の月和歌ふ新川て　宏仍

小供さへ淋しあふなき　通

涼とけふいつぬ扇子をさしこる　山

蕎を喰ふも寄もなをさき　仍

四四の法にて子あつふ象伝乃筆　通

四四法子はちりそくあ光　山

ちりそちと光影なる鈴とり　仍

二葉撫子も心多恵を出す　通

そそと名を呼ぶまてもみ瘡治　山

仆の屠伴を笑小呼つせふ　仍

夕日の影まて産紙をうりて　通

通仆のなりても拙されわ通　山

あ秋ハ雨ふりてあけとかくこそ侍

撰集すゝめ歌のおもしろ　亀

咲くるむらさき法名もたまうす　山

撰り雅の竹まれ　三月　仙

うくひすの春をまつ鶯の音　山

恨多をやあくと恨くれぬ性さ　亀

侍てある法義ハ人をはゆうゆ　仙

ひとをを越をを乎なあきるひ　山

鄰る陣ゝくまゝと　亀

不ゑやを霜乃うるふ　仙

うる菜　濃をの新屋の濃く　山

ねて　ゝくねハおろあ　亀相見

きらゆれをる明治をあ　仙

ひるを乃美も　新ゝ見ゝ　山

野中く出ゝ　熱田乃ゝれ　亀

きゝて　第一　ゝ加せて　仙

日影を剪て打ちかぬ時てのち　山

嘆きそへきれハ多かる手ぬくい　亟

糸ハ切て　切ハ乃ち　仍

跡すく男ハ　元をわすれ　山

苔を行くもちゆく　花の背の高さ　亟

葉をもるる　多ハ　仍

拾山

雪を枕の花をもり　東山

ふるとふるふ　雨ハ　雪

はと　烟　光　一ちゃ　入て　亟池

ほとの　きゝ　ハ　ひらゝ　池

ふる　ふて　ゝれる　ス　雪　山

ひる　ハ　ゝ　ち　ち　ぬ　水　雪

池

[illegible] 有ける事　山
[illegible]　苔
[illegible]　池
[illegible]　山
[illegible]　苔
[illegible]　池
[illegible]　山
[illegible]　苔

[illegible]　池
[illegible]　山
[illegible]　苔
[illegible]　池
[illegible]　苔
[illegible]　池
[illegible]　山
[illegible]　苔

[illegible]ふ　[illegible]　[illegible]　[illegible]

主秋やこころ高めて仙夢

秋しらべ 渕 澄まる玉敷川 如雪

なほ秋も 楓の うまれ 新田川 佐井

仮ふれ 多れ 清さよ 笹 双多

寒ふし 寒ふ のこるて 新の秋 二境

初秋乃 ふる 出 乃 新 佐やま 隙水

新たる 晴る 秋しる 春 寒 秋 主秋

雨 ふる 今 ま も なくて 初 あら 陸切

散てゝる 橋つま 寒き 寒 寒 寒 吳 重

多 ま み 市 ふる も 澄て て の 川 四 温

見 ふ ま ま る や う な り 春 此 川 鳥 岬

捨 て し る 新 の 寒 や 新 は 此 寒 美

澄 て る と ら ん て ま ふ 新 の 雨 寒 寒

晴 主 の 新 の 山 の 山 て 行 て 篝 月 寒 寒

[illegible] 少 [illegible] 仙
[illegible] 花 梁
[illegible] 陰 永
[illegible] 杜 夢
[illegible] 仙
[illegible] 楽 媒
[illegible] 高 [illegible]
[illegible] 蓬 [illegible]

[illegible] 東 石
[illegible] 二 [illegible] 園
[illegible] 桃 [illegible]
[illegible] 宮 [illegible] 翠
[illegible] 行 [illegible] 杜 陵
[illegible] 乃 [illegible] 川
[illegible] 枝 [illegible] 桃 [illegible]
[illegible] 杜 [illegible] 蓬 [illegible]

秋の空　高あらかくて　松の色　常に
あらなくの　さや　之浦　之磯の　乃　汐干　更衛
夢　つきて　ぬる　ようかな　世を　久分　雑翠
さ　浪ふ　うけひく　まさる　言　世日　士由
之々月や　さらふて　松る　秋　略　岳
待宵や　月　まつ　ちろ　雪　一　時　情　袁
名月や　誓の　ち　板の　此　松る　墓　茅
め　此月や　ふき　ひ　さ　ハ　立　荷　東　塗

名　ち　や　ひ　ろ　ま　ち　む　の　京　乃　之　雲
ま　て　ふ　き　こ　ま　て　て　ふ　の　月　藤　江
松　ま　さ　ま　ち　う　ま　け　ふ　乃　日　松　苔
葉　う　ち　て　波　松　る　錦　や　名　る　世　月　花　戎
新　新　の　つ　れ　ゆ　ら　弱　や　ふ　乃　つ　き　松　水
二　時　ま　ち　和　ま　ち　や　苔　ふ　の　月　克　色
色　は　ん　ま　限　波　み　さ　ハ　ら　や　月　ち　船　松　世
板　細　う　い　ま　ま　ち　ふ　日　ち　ち　郎　麦　白

[illegible]

[illegible]

[illegible]

めづらしき　詩も　秋の　宿りの　会　三　志
義仲　ひとりの　みちの　ひかりの　赤　彩
雲　わかく　はなの　色　や　秋の　雲　雲
よき　雲と　人　ら　に　て　秋の　れ　雲　白
はるる　ひと　と　ひと　と　て　紅　乃　く　迷　元　る
ふと　ひと　と　ふ　と　ひ　と　と　と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

信濃や稲こき乃ち　史山

稲の香や くまり恩の　京　市室

こゝ　こと　留れくと乃　秋葉　柳国女

はなく　信濃も　ありてきくれも　美房

うくれるや　切根のうしゝ　蔦の花　不角

葉ことれハ　ひまあく　くふの　仏郎　一之

ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]　素堂

[illegible]　[illegible]

[illegible]　二日　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 百筆

[illegible] 九日 時雨

[illegible] 秋雨

[illegible]

[illegible] 碧甫

[illegible] 岳

[illegible] 仲涵

[illegible] 拾山

[illegible]

[illegible] 道字

[illegible] 龍雲

[illegible] 山

[illegible] 字

[illegible] 雲

つきして　ふるうち　なくゆく　空　糸　山

秤　をよこす　銭　乃　空　空

袋　つめ　石よ　多　あるも　みつのし　空

なるみず　ことば　ふる　あり　銭　山

出　ひろ　なるる　ふる　辻　ゆく　空

月　ふる　出　八　月　出　金　銭　の　空

象　ひも　人　ゆく　出　ゆく　ひと　山

都　と　ゆく　ひと　ひ　ぬ　ゆ　空

ゆく　ゆく　ゆく　紙　空

銭　の　ゆく　ゆく　ゆく　山

山　の　ゆく　ゆく　上　ひ　ゆ　出　ゆく　空

ゆく　ゆ　ふる　の　ひき　ひ　ひ　空

あ　ゆ　ゆ　ゆ　出　ゆ　の　銭　ゆ　山

ふる　ゆ　ゆ　ゆ　ひ　ゆ　ゆ　ひ　空

なく　ゆく　ふる　ゆ　ひき　ひ　ゆ　ゆ　空

樂　ゆ　ゆ　ゆ　ふ　ひ　山

ゆくとしをうき中ふ　まくちう　宇

雪ふる　うぶゑの　ふゝの　ゑ　宣

なをく　けふ　郷　うきあふ者も　山

すゝと　伸して　天せる　手ぜ　宇

塚内　ぜ　ゑふ　たゝあ　砂ふ　宣

あつゝふ　まけし　森の　おくく　山

けふ　ハ　ゑる　ゆし　よ　月　ゆ　秋　宇

ゑゑゑと　いゝゝ　新ハ　塚ふ　宣

年　ゝ　ゑる　ゑゑ　ゑ　ゆ　て　山

いけゝ　ゆく　名仕　つき　底　ふ　宇

百　石　ゝ　ゑ　樽　ふ　ゑゝ　ゑ　ひ　宣

ふ　ゆ　よ　世　つ　ゝ　ゑて　ゑる　山

愛　ふ　ま　ふ　ゆ　よ　く　ゆ　ゑ　永　宇

ゑか　ふ　乃　塚　よ　ゑ　る　ま　く　世　宣

内ふ銘て　乞れハ去ン　小六月　白昭

一夏ふ　小去　行ン　さ　ゆう郎　松蔭

末合せて　屯戸坂も　小ゆ　ゆ　寄　寄

白ゆ社　橋　ゆ　ゆ　ふけ　ゆ　月　人

ゆ　ゆ　ゆ　田　ゆ　あ　ゆく　少　小　松　芭

只　小去　伏　乞　の　ゆ　社　ゆ　の　白　松　梅　祖

ゆ　ゆ　ゆ　

さてうしき　ほうそ　くれそ　仲の石　雖雨
ほれ　ひを　さそ　りや　陸奥　松原
おくれや　枝　そ　冬て　黄　そく　精多
高の　ねを　かして　時や　ひ一　枝　吟古
しさうれや　夕　へ　雪　種　絮　遠人
高　ん　て　高　さめ　う　ひの　花　可去
そう　そと　される　仕　ほや　ひ　め　先　春山
あゆきや　ちう　き　ふ　ら　れ　そ　く　笠　ひ

はつ　ま　を　皆　ゆ　ふ　し　つ　ま　ひ　う　ま　梅　菜
雪　ふ　ほ　せ　そ　れ　と　ほ　う　場　松　ふ　郭　蟻　蛛
さ　し　ま　ハ　す　ふ　そ　う　や　彩　れ　雪　ま　北
ま　ひ　さ　せ　ハ　夕　松　め　そ　り　ゆ　き　ま　へ　石　史
松　う　れ　て　雪　う　年　そ　う　雪　れ　笠　ま　乙
ゆ　さ　れ　夕　や　た　ち　ま　ち　ほ　う　黄　ふ　う　龍　梅
雪　も　な　く　ほ　う　る　月　れ　小　ゆ　き　う　な　思　遠
雪　ふ　し　ま　も　ま　う　し　れ　そ　て　小　梅

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちらくとちるまで傍らに桜の陰
ほちくと自然まりる落葉可愛旧
よる秋乃鶏うちもちる赤葉乃咲哉
うたろあよちるまで咲る桜葉卯月
葉山ちや濡もきき鶯ひとく拾文宝
葉山ちや桜ひとを葉ちめきを拾仮当
咲きうたをめうしき八ちを乃玉宝
むる自をうふあしやちるまみち葉探

おて赤く葉ま咲くらや色牡丹俳山
なるうふ色ハおるて拾俳しし拾宝
咲ふまるるふうて色乃躑山
俳自然さわきるるやを拾を梅才
鶯笑も色くるるやを乃色花家澤
ちを拾ひく咲ま赤乃ちみ乃水返
乃仏やあるるふ伸て咲かるを拾場
乃俳やおのう生るふく花乃色十百

[illegible]や　[illegible]き　花　[illegible]書　敦止

[illegible]仙や　[illegible]て　[illegible]も　[illegible]　松山

[illegible]や　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]も　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]や　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

落てゝ　はく　もゝ　市書　多入
靜さや　毎　おゝ　雪　佐ゝひ　蘆村
みなを　さゝ　落ゝ　玉　ゝ　奥の　淀　家　家
笠　埃の　中ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　松　彦
ちゝゝ　人ふ　ゝ　ふ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　升　魚

ふくけや　ゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　国　彦
ゝて　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　彦　生

笠　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　眉　魚
落　あ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　彦　水
人の　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　玄　魚
ゝ　ふ　人　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　一　清

ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

取扱所　仲変　お客様

拾山遊

富田藏書

京四條通寺町東入
所　御細工所
湖雲堂　近江屋利助